

Q. 空き家等対策計画は



おかしままさのぶ
岡島政信 議員

Okajima Masanobu

A. 素案の取りまとめを行っている



12月定例会

討議

審議結果

委員会視察

一般質問

平成29年度9月定例会で平成31年度中に空き家等対策計画の策定を目指すとの答弁を頂いた。計画や、空き家問題について聞く。

Q 計画策定を進めている中で、現時点までどのようなことを実施したか。

A 産業建設部長

8月に、空き家と思われる家屋の土地所有の方に対し、住宅に関する状況確認や今後の活用についてアンケートを実施した。

Q アンケート結果を踏まえ、現時点での対策計画はどのような状況にあるか。

A 産業建設部長
調査結果をもとに、計画の素案の取りまとめを行っている。

Q 今後、どのようなことを行う考えか。

A 産業建設部長

対策計画の素案をまとめ、来年2月頃にパブリックコメントを実施し、広く市民の皆様の意見をうかがい、具体案についていく。

Q 今後、空き家を増やさないように計画書に反映されると思う。その内容は何か。

A 産業建設部長
空き家を増やさない取り組みとして、まずは所有者への意識啓発に努め、関係団体と協力して進めていきたい。具体的な内容は、パブリックコメント実施の際に示す。

Q. 携帯電話のサービスのHPへ

A. 今後掲載していく

れいわ新選組の舩後議員は、公約で「困難を持つ人々が尊厳と楽しみを持って生きていける社会にしたい」と話された。私は誰もが、同じように楽しみを持って生きていける社会にしていくことは大切であると常々思っている。そこで障がい者へのサービスについて聞く。

Q 他市町の福祉サービスなどの調査はしたか。

A 生活福祉部長

福祉サービスの調査は必要に応じて行っている。

Q 私は、携帯電話会社のサービスをホームページなどで知ってもらう必要性を強く感じる。楽しみを持つて生きていける社会にするため、取り入れは。

A 生活福祉部長

窓口へ相談にみえた方に「障がい福祉制度のご案内」で情報提供を行っている。今後はホームページにも掲載していく。

Q 障がい者へのサービスを拡大していく考えは。

A 生活福祉部長

本町が実施していない施策があれば、検討していく。